

2023年11月9日

NEWS RELEASE

会社名 株式会社ティムス
代表者名 代表取締役社長 若林 拓朗
(コード：4891 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 伊藤 剛
(TEL. 042-307-7480)

バイオジェン社の決算説明会における TMS-007 (BIIB131) の取扱いについて

株式会社ティムス（以下、「当社」という。）は、2023年7月28日に開示しました TMS-007 (BIIB131) の開発に関する更新情報をお知らせいたします。

米国バイオジェン社（以下、「バイオジェン」という。NASDAQ 略称 BIIB）が、日本時間の11月8日午後10時（米国東部標準時間 午前8時）に開催した2023年第3四半期決算説明会においては、TMS-007 (BIIB131) の開発に関する新たな発表はございませんでした。なお、バイオジェンの同説明会資料のパイプライン表上には、引き続き TMS-007 (BIIB131) が掲載されております。

当社は、TMS-007 (BIIB131) の開発状況に進捗がありましたら、速やかにお知らせいたします。

なお、当社は2021年に TMS-007 を含む SMTP 化合物群の全ての知的財産権をバイオジェンへ導出し、同社において TMS-007 (BIIB131) の後期第Ⅱ相臨床試験 (DAISY) が実施される予定となっておりましたが、同社は2023年4月25日の2023年第1四半期決算説明会にて、後期第Ⅱ相臨床試験の開始を一時停止し当該臨床試験を開始すべきかどうかを再評価すると発表しております。

TMS-007 (BIIB131) は、当社において前期第Ⅱ相臨床試験までの開発を行い、急性期脳梗塞治療薬の臨床試験で特に重視される「90日後 mRS(modified Rankin Scale)^{※1}スコア0～1への転帰率」の指標において統計的有意差を伴う有効性を達成し、さらに症候性頭蓋内出血発症率が0%^{※2}という安全性を示す結果を得ている、急性期脳梗塞における次世代治療薬候補物質です。

当社におきましては、TMS-007 (BIIB131) について、これら有効性、安全性等への懸念が生じているものではないとの認識であり、多くの患者さんを救える医薬品になり得ると期待しております。引き続き TMS-007 (BIIB131) の実用化に向けて最大限の努力をしております。

※1. 脳卒中発症後患者の生活自立度を評価したもので、0(無症候)から6(死亡)の7段階に分類したものの。

※2. N=52、病院到着までの平均時間9.5時間における臨床試験におけるデータ値。

以上